

日本沿岸域学会 研究グループ 研究計画提案書

平成 23 年 3 月 31 日

① 研究テーマ	海洋漂着プラスチックによる沿岸域の汚染状況の調査研究						
② 目的	プラスチックは世界で年間約 3 億トン生産され、現代生活に欠かせない素材である。しかし、使用後の不注意な投棄によって、河川から海洋に流出し、国境を越え他国に漂着することもあり、これらの漂着プラスチックは国際的な社会問題となっている。これまで、プラスチックは化学的に安定であるとされてきたが、近年、ノニルフェノール、ビスフェノール A などプラスチックに由来する化学物質が湖沼や河川および東京湾などの水中や底質中に存在することが明らかになってきた。本研究グループでは、国内外で沿岸の砂、海水、外洋水などのサンプリングと化学分析を行い、プラスチックから発生する化学物質による汚染の状況を把握し、生態系に与える影響を検討する。また、これらの化学物質の発生源である漂着プラスチックの除去方法などを検討する。						
③ 活動内容	国内の共同研究者(グループ構成員)の各機関(日本大学、富山県立大学、静岡大学)において、持ち回りで年 3 回程度の研究ミーティングを開催し、研究成果の報告、論文発表計画、今後の研究方針などの検討を行う。また、海外の共同研究者とは、常にメール等で同様の検討を行いながら活動を進める。						
④ グループの構成	氏名	会・非	専門分野	所属・役職	住所	電話番号	FAX番号
世話人	佐藤秀人	会員	地盤環境工学	日本大学 准教授			
	山本和清	会員	海洋建築学	日本大学 専任講師			
グループ構成員	道祖土勝彦	非	分析化学	日本大学 准教授			
	楠井隆史	非	環境工学	富山県立大学 教授			
	小川直人	非	環境微生物学	静岡大学 教授			
	大野一敏	非	海洋環境	NPO バイプランアソシエイツ			
	歐 志銘	非	土木工学	台湾 蘭陽技術学院 助理教授			
Lejano Bernardo	非	土木工学	フィリピン De La Sale University 准教授				
⑤ 日程表	研究期間	平成 23 年 6 月～平成 25 年 3 月		開催頻度	3 か月に 1 回程度		
	開催場所	日本大学(東京)、富山県立大学、静岡大学、その他とし、随時決定する。		⑥ 研究運営費			